

JR九州連合情報

JRグループ労組連絡会

2022春闘総決起集会

JRグループ労組連絡会は、2月10日、大阪市をメイン会場として全国5か所をリモートで結び、2022春闘総決起集会を開催した。冒頭、荻山会長は「コロナ禍により各社の経営体力が大きく痛み、従来型の支払能力論で労使の接点を見出すのは難しいと思うが、JR産業の持続的成長のためには、労働



リモートにて集会に参加する様子

生産性を高める変革に労使で取り組みながら、あるべき賃金水準への引き上げや働き方の改革を確実に進めることが求められる。中長期的な視点から徹底して議論し『人への投資』『働きの価値に見合った賃金』について交渉を深めて欲しい」と参加者に要請した。

集会では、年度初における定期昇給相当分(5,000円)の確保や、1,000円を目安とした純ベア統一要求を行うこと、手当偏重型の賃金制度の改善や柔軟な就労環境の整備に資する要求項目を盛り込むことなどが確認された。その後、各分科会の代表者から春闘に臨む決意が表明され、奥村代表幹事(JR東海連合)の団結がんばろうで決意を固め合った。

陸運分科会代表 JR九州バス労組決意表明(抜粋)

コロナ禍で私たちバス事業者を取り巻く環境は一変しました。テレワークの推奨により、公共交通機関を利用する通勤者が激減し、不要不急の外出自粛により、高速バスは減便を強いられています。さらに、感染防止の観点から、修学旅行・募集型ツアーなどが相次いでキャンセルとなり、貸切便の収入はほぼゼロに近くなっています。このような収入減により、会社経営は苦境に立たされています。

そもそもコロナ禍以前から、バス事業は厳しいものでした。賃金の低さや、過酷な労働条件は思うようには改善されず、新規の大型二種免許取得者や新規のバス運転士はほとんどいないのが現状です。そのため、バス運転士は高齢化をたどり、きつい労働環境も合わさって、バス運転士の健康に起因する事故も多発しています。そのような中の今回のコロナ禍で、会社も組合員も、もう一歩も引けない状況に追い込まれています。

確かに会社経営が厳しいのはわかりますが、私たち組合員は「生きるか死ぬか」の際に立たされていることを忘れてはいけません。今春闘は、**私たちの生き残りをかけた春闘**であることを胸に刻み、闘ってゆかねばなりません。

私たちに課せられた責任は、コロナ禍の今こそ**安全安心なバスを取り戻し、組合員のゆとりある生活を**実現することです。そのためにはベースアップをはじめ、各種手当での新設やさらなる休日増など、労働条件の向上を目指さなければなりません。今春闘においては、JR連合の方針に則り、月例賃金アップ、労働条件の改善に主眼を置いた闘いを進めていく覚悟です。共に頑張りましょう。



九州会場で春闘への決意を新たにした参加者たち

JR連合ふれあいキャンペーン

JR九州レンタカー&パーキング(株)

JR九州レンタカー&パーキング(株)では、福岡市南区と鹿児島市上荒田町でコインランドリーを運営しています。



- * 布団、カーテン、スニーカーも洗えます。
- * 24時間365日営業しています。

アプリに登録すれば空き状況確認もOK。
お近くにお住まいの方はぜひご利用ください！

詳しくはHPをご覧ください▶ <https://www.ir-rp.jp/laundry/index.html>

JR連合・JR九州連合では、加盟組合の会社が運営している施設や店舗を紹介して利用促進を促し、働いている仲間を応援するキャンペーンを実施中です。全組合員一丸となってコロナによる経営危機を克服しよう！

コインランドリー

ふ わ ほ か や

FUWA HOKA YA

※画像はJR九州レンタカー&パーキング(株)HPより